

1 児童の現状分析

明るく元気で、様々なことに意欲的な児童が多い。基礎・基本は、身に付いている児童が多い。しかし、国語の物語の深い読み取りや作文、算数の文章題など、思考を要する課題への取り組みや話を聞く姿勢、十分身に付いているとは言えない。

2 各教科等における授業改善の視点

授業改善の視点	
国語	○自分の考えを順序立てて話すことができるよう、話型を示して指導する。漢字の学習では、小テストや力試しの問題など、できなかった問題の再テストを繰り返し行って定着を図る。既習漢字の復習を「eboard」を活用して行う。
算数	○足し算と引き算の筆算では、きまりを使った文章題で深い読み取りができるようにする。「eboard」を活用して多くの問題に取り組みさせる。長さの単位では、数量をつかむために身の回りの実物を使って量感を育む。日常生活の中で、時刻を読んだり、時間を計算したりする機会を設け、時計の読み方を定着させる。
生活	○野菜の栽培に意欲的に取り組んでいたが、暑さによって枯れてしまうことがあったので、水やりの声掛けをこまめに行ったり、教師が水やりをしたりする必要がある。タブレット型パソコンで写真を撮って成長を記録する仕方も併せて学習できるようにする。
音楽	○思いや意図をもって表現活動ができるようにするために、児童の意見を取り入れながら表現活動を行う。また、意見を出す児童が偏らないように、グループで話し合いなどをして、多くの意見が反映されるようにする。
図画工作	○児童の思いや考えを表現しやすいように、色の使い方や飾り方、道具の使い方などの基礎的な技能を身に付けさせる。その際、書画カメラや動画を使用して、分かりやすく伝えるよう工夫する。
体育	○運動量を確保するためにも、ルールの説明の時間を多くするよりも、活動していく中でルールが工夫できるような授業構成にしていく。投げる力が全体的に低いので、主運動につながる準備の活動の中に、投げる力を育むための活動を意図的に設定する。
道徳	○教材の話を自分事として捉えることが難しい児童がいるため、人物の気持ちが想像しやすくなるようにするために、イラストや絵カードなどを使うなど教材提示を工夫する。教材の登場人物への共感を深められるよう発問を精選する。